

市議会だより

元気・勇気・感動

なかのりな
題字：中野 莉奈さん（跡市小学校5年）



撮影 鍛治恵巳子

第3回 江津市共同募金チャリティ余芸大会

12月定例市議会報告

- ◆議会の動き 2
- ◆補正予算・予算審査 2・3
- ◆常任委員会審査 4
- ◆議決結果 5
- ◆本会議討論 6
- ◆行政に問う（一般質問） 7～10
- ◆総務・建設委員会行政視察報告 11
- ◆議会報告会を開催 12・13

2015.2
No.122

平成26年
12月(第5回)定例会日程

| | | |
|-------|-----|---|
| 12月5日 | 本会議 | (組合議会議員選挙、委員選任) |
| 10日 | 本会議 | (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (議案上程・提案説明・質疑・委員会付託) (請願・質疑・委員会付託) (一般質問) |
| 11日 | 本会議 | (一般質問) |
| 12日 | 委員会 | (総務文教委員会) |
| 15日 | 委員会 | (建設厚生委員会) |
| 16日 | 委員会 | (予算委員会) |
| 19日 | 本会議 | (議案上程・提案説明・質疑・討論・採決) (委員長報告・質疑・討論・採決) |

12月議会定例会

平成26年第5回議会定例会が、12月5日から19日までの15日間の日程で開かれ、消防組協議会議員選挙、委員選任が行われたほか、平成26年度補正予算を初め、市長提出議案26件、請願1件が審議され、請願1件を除くそのほかの議案はすべて原案のとおり可決されました。



《承認》専決・一般会計補正予算(第4・5号)

| | |
|------------------------|---|
| 3,302万3,000円増額 | 内容 ●総合市民センターの和式トイレを洋式トイレに改修するもの(1,418万8,000円) ●衆議院議員選挙費について補正するもの(1,883万5,000円) |
| 補正後予算総額 174億1,771万円 | |

【12月定例会】
 ●市長提出議案 26件
 ・条例議案11件
 ・予算議案13件
 ・承認議案2件
 いずれも原案可決・

《可決》一般会計補正予算(第6号)

| | |
|-------------------------|--|
| 2億1,630万4,000円増額 | 内容 人口減少対策経費や、 ^{コケ} 苔の6次産業化にかかる経費、萩・石見空港の利用促進費など必要な措置を講じたもの |
| 補正後予算総額 176億3,401万円 | |

承認しました。
 ●請願 1件
 「中小企業振興条例の制定について」は賛成少数で不採択となりました。

《可決》一般会計補正予算(第7号)

| | |
|------------------------|--|
| 2,024万7,000円増額 | 内容 人事院勧告などに準じて改定する職員人件費に加え市長・議員手当の補正をするもの |
| 補正後予算総額 176億5,426万円 | |



～平成26年度
12月補正予算（第6号）の主要事業～



| 事業名 | 予算額 | 事業の概要 |
|----------------|-------|--|
| 人口減少対策構築事業 | 50万円 | まち・ひと・しごと創生法で定められている、本市の「総合戦略」を策定するための体制を整備するもの。 |
| みんなでつくる有機の郷事業 | 210万円 | 有機農業の拡大のため、農地保全や雇用確保を行う事業所の施設・機械整備を支援するもの。 |
| 農林水産振興総合事業 | 160万円 | コトを活用し、生産者・集落・企業の連携で産業創出や耕作放棄地解消などの地域課題を解決するための事業を進める。また、半農半Xへ補助するもの。 |
| 萩・石見空港利用促進対策事業 | 100万円 | 期間限定で2便化が復活している萩・石見空港の東京線を継続させるための利用促進を図り、江津市在住者が往復で利用した場合に1万円を補助するもの。 |
| 安全・安心拠点整備事業 | 400万円 | 桜江町渡田地区の消防ポンプ格納庫を、浸水想定区域や土砂災害警戒区域から外れた川越大橋南詰の市有地へ移転するもの。 |
| 災害対策費 | 76万円 | 平成25年8月の大雨災害に際して、全国から寄せられた義援金の一部で、災害備蓄品及び防災活動必要物品を購入するもの。 |
| 教育費・事務局費 | 117万円 | 市内小中学校での学力調査を行うもの。 |

予算委員会審査内容（一般会計補正予算）

問 農林水産振興総合事業の「半農半X」への補助について、補助対象者の生活は安定したものとなるか。

答 今回の対象者は1名で、農業と漁業に就く。年収で250万円の計画だが、取り組みの2年目なので、経過を見ていきたい。

問 萩・石見空港利用促進対策事業について、東京線の往復利用に1万円補助するとのことだが、片道利用者にも補助をすべきでは。

答 今回は往復利用により多くの方に使っていただきたいと考えている。

問 学力調査について、市が独自に小中学校の学力テストを行うというものだが、学校の先生方の手間や負担が増えるのでは。

答 今回の学力調査は、採点や分析も含め業者によるものとし、学校側の負担軽減を図っていく。

常任委員会
審査内容

総務文教委員会

委員会に付託された
条例議案2件は原案の
とおり可決すべきもの
と決した。

● 条例議案

◆ 公の施設に係る指定
管理者の指定の手續等
に関する条例の一部を
改正する条例制定につ
いて

Ⅱ 内容Ⅱ

公募によらない指定
管理者の候補者の選定
において、現行では、
市の出資法人及び公共
団体、公共的団体のみ
選定できることとなっ
ているが、民間事業者
についても選定できる
ように所要の改正を行
うもの。

【委員質問】

問 現在、公共施設の

あり方が検討されてい
るが、本議案はその時
期に合わせたものか。

答 平成27年度10施設
が更新を迎えるのに合
わせて提案した。

問 これまでの利用料
金を使用料と利用料金
の2つに改正した理由
は。

答 収入の取り扱いを
指定管理者か、市かを
区別するためである。

◆ 江津市消防団員等公
務災害補償条例の一部
を改正する条例制定に
ついて

Ⅱ 内容Ⅱ

関連する政令の公布
により、必要な改正を
行うもの。



消防出初式で紹介される新人消防団員の皆さん

建設厚生委員会

付託された条例議案
6件はいずれも原案の
通り可決すべきものと
決し、請願1件につい
ては賛成少数で不採択
すべきものと決した。

● 請願

◆ 「中小企業振興条例
の制定について」

Ⅱ 内容Ⅱ

国が定めた小規模企
業振興基本法を受け、
地域経済の振興のため
本市の状況に応じたビ
ジョンを策定し、中小
企業振興条例の制定を
求めるもの。

【委員質問】

問 中小企業に対して
これまででもいろいろ補
助や助成をしてきてい
るが、支援策の内容は。

答 商業の活性化、創
業支援、空き店舗活用
など、中小企業を細か
く支援する施策を行っ
ている。融資制度につ
いては利子補給制度を
中心に活用していただ



いている。本市では特
に近年は創業支援制度
を充実させている。

【反対討論】

● 本市では、ビジネス
プランコンテストとい
う産業振興の目玉とな
る事業や、市内の関
係機関11団体で構成す
る産業振興連絡会議を、
毎月定期的に開催して
解決策を検討し、産業
の振興や発展に努力し
ているので、この上、
条例制定の必要はない。

【賛成討論】

○ 基本法が国会で決ま
っており本市でも条例
制定が必要。アベノミ
クスによる景気回復は
大企業ばかりで、地方
の中小企業には支援の
手が届いてない。支援

が、体系的に中
小企業に届くよ
うな条例をつく
っていくべき。

● 条例議案

◆ 江津市国民健
康保険条例の一
部を改正する条
例制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

健康保険法施行令の
改正で、出産育児一時
金の額などが変更され
たことにあわせ、必要
な改正を行うもの。

◆ 江津市国民健康保険
出産費資金貸付基金条
例及び江津市国民健康
保険出産費資金貸付条
例を廃止する条例制定
について

Ⅱ 内容Ⅱ

国の制度改正により、
出産育児一時金の医療
機関等への直接支払制
度が始まったことで、
市の出産費資金貸付制
度や貸付のための基金
が不要となり廃止する
もの。

◆ 江津市福祉医療費助
成条例の一部を改正す

る条例制定につい
て

Ⅱ 内容Ⅱ

「母子及び寡婦福祉
法」や「難病の患者に
対する医療等に関する
法律」が改正・施行さ
れたことにあわせ、必
要な改正を行うもの。

◆ 江津市乳幼児等医療
費助成条例の一部を改
正する条例制定につ
いて

Ⅱ 内容Ⅱ

「児童福祉法」や「難
病の患者に対する医療
等に関する法律」が改
正・施行されたことに
あわせ、必要な改正を
行うもの。

◆ 江津市営住宅管理条
例の一部を改正する条
例制定について

◆ 江津市福祉事務所設
置条例の一部を改正す
る条例制定について

Ⅱ 内容Ⅱ

条文中にある法律名
が変更されたため、必
要な改正を行うもの。

| 議案番号 | 件名 | 議決結果 | | 坪内涼二 | 鍛冶恵巳子 | 小林博昭 | 田中利徳 | 多田伸治 | 森川佳英 | 藤間義明 | 森脇悦朗 | 島田修二 | 石橋孝義 | 河野正行 | 土井正人 | 田中直文 | 永岡静馬 | 藤田厚 | |
|--------|---|------|--------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|-----|---|
| | | 議決結果 | 議決日 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 承認第10号 | 専決処分報告について | 承認 | 12月5日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 承認第11号 | 専決処分報告について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第62号 | 公の施設に係る指定管理者の指定の手続等に関する条例の一部を改正する条例制定について | 可決 | 12月19日 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第63号 | 江津市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第64号 | 江津市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第65号 | 江津市国民健康保険出産費資金貸付基金条例及び江津市国民健康保険出産費資金貸付条例を廃止する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第66号 | 江津市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第67号 | 江津市乳幼児等医療費助成条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第68号 | 江津市営住宅管理条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第69号 | 江津市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第70号 | 平成26年度島根県江津市一般会計補正予算（第6号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第71号 | 平成26年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第72号 | 平成26年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第73号 | 平成26年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第74号 | 平成26年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第75号 | 平成26年度島根県江津市水道事業会計補正予算（第2号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第76号 | 江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第77号 | 市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第78号 | 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第79号 | 平成26年度島根県江津市一般会計補正予算（第7号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第80号 | 平成26年度島根県江津市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第81号 | 平成26年度島根県江津市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第82号 | 平成26年度島根県江津市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第83号 | 平成26年度島根県江津市簡易水道事業特別会計補正予算（第3号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第84号 | 平成26年度島根県江津市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第85号 | 平成26年度島根県江津市水道事業会計補正予算（第3号）を定めることについて | 〃 | 〃 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 請願第2号 | 中小企業振興条例の制定について | 〃 | 不採択 | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |

第5回議会定例会

議長職は評決権なし

○ 賛成 ● 反対 △ 欠席 斥 除斥

賛否の分かれた議案に対する反対・賛成討論



請願第2号 中小企業振興条例の制定について

反対討論
(鍛冶)

本市では、「江津市産業振興連絡会議」を設置しており、地域の経済状況及び市内産業の課題の認識を共有し、その解決策を検討することにより、その振興・発展に努力している。中小企業等競争力強化支援事業補助金・産業活性化支援事業補助金など、手厚い支援も行っている。条例制定のためには、詳細な地域振興ビジョン等を策定しなければならず、多大な時間・経費・労力をかけてまで策定する必要はないので反対。

賛成討論
(多田)

安倍自公政権が消費税を8%へ増税したことで、国内経済は大打撃を受け、地域経済を支える中小企業も深刻な状況にある。それを受けて「地方創生」が進みつつあり、この流れに乗るため、主体的に中小企業を支援し、地域経済を温める仕組みづくりが必要。反対討論では、「すでに対策があり、成果を上げつつある」とされたが、市内経済は好転しておらず、十分な対策となっていない。だからこそ「中小企業振興条例」を制定して、体系的にすべての中小企業に行き渡るような支援を行うべきであり請願に賛成。

議案第76号 江津市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例制定について
議案第77号 市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

反対討論
(森川)

これまで市民にいろいろな負担増を我慢していただいているなかで、議員・市長の手当を引き上げるとは認めるべきではない。今回の増額について市長は「大局的にみて決定した」と答弁したが、財政状況を考えれば現状を維持すべきであり、条例改定に反対。

議案第76・77号の改正による期末手当の額の変更

| 役職 | 給料・報酬月額 (単位 円) | 変更なし (単位 円) | 12月支給の期末手当 | |
|-----|-------------------|--------------------|------------|-------------|
| | | | 改正前 | 改正後 (単位 円) |
| 市長 | 給料月額 (減額措置前) | 627,300 738,000 | 1,405,152 | ⇒ 1,492,974 |
| 議長 | 報酬月額 | 353,000 | 790,720 | ⇒ 840,140 |
| 副議長 | 報酬月額 | 312,000 | 698,880 | ⇒ 742,560 |
| 議員 | 報酬月額 | 294,000 | 658,560 | ⇒ 699,720 |

市民の声を行政に問う

※原稿は質問した議員自身が必要をまとめたものです。

地域経済の活性化対策を

市長／財源を見ながら検討

経済対策



永岡 静馬

問 本市ではアベノミクスの効果が現れてい

ない。今こそ地域振興券（プレミアム付き商品券）の発行を。

答 県の経済動向は、「一部に弱い動きが見られるものの、引き続き緩やかな持ち直しの動きとなつている」とされている。

国においては、消費税増税後の景気浮揚策を様々な観点から検討されているので、その動向を注視し、状況の変化に応じて必要な対応をしていく。

問 議員・職員の名刺の裏面を観光施設などの割引券として活用しては。

答 ユニークな提案と受け止めている。職員の名刺に市内観光施設の情報や印刷込み情報発信している。これをさらに施設割引券として利用することでその

効果を期待するものだが、他市の状況を見ると公共施設の利用料を割引している自治体もあり、今後その効果や課題について検証し、実現できるか検討していく。



平成21年に商業活性化緊急対策事業として実施した「郷土人麻呂商品券」

予算編成

平成27年度の

予算編成は

市長／優先順位を見極めて



石橋 孝義

問 前の再生整備事業の公共複合施設が中心。また、桜江地区の江津市コミュニティセンターの耐震改修。定住対策は国の「地方創生総合戦略」を見極めて取り組む。

問 財源は。

答 財源については、国・県の補助金、過疎債、減災防災事業債など有利な起債を活用して実施する。

【海岸侵食】

問 江の川以東の海岸侵食が顕著である。対応策は。

答 海岸管理者の県関係部署と連携、協議し対応する。県への重点要望も考えている。

問 平成27年度当初予算編成の基本的な考えは。

答 災害復旧のため災害関連経費を中心に、定住促進。企業誘致や農林業の活性化の雇用対策。地域医療。地域コミュニティの促進、子育て、教育、防犯などを重点化し、限られた財源の中、緊急度や優先度の高いものから計上していく。

問 具体的な主要事業は。

答 平成25年8月の災害復旧事業、江津駅



海岸侵食が進む江の川以東の海岸

山陰道

道の駅をサービスエリアに

市長／困難と考える



多田 伸治

問 国交省は道の駅付近に山陰道・福光浅利線のインターチェンジを設けるとしているが、道の駅を有効活用するためにサービスエリアとして山陰道に組み込むべきでは。

答 本市として道の駅

問 農林水産業振興の観点から、道の駅をサービスエリアにすべき。福光浅利線についての都市計画説明会で、私も公述人として同様の意見を述べるが、この意見はどの程度計画に反映されるのか。

答 内容を計画案作成の参考とし、県と市の都市計画審議会へも報告する。ただ、説明会で計画原案へ異論が出た場合、事業の遅延につながる可能性がある。

問 農林水産業の振興は地方創生の要。その視点から国交省を説得

するべきではないか。

答 地域の振興につながるよう、まずは全線開通へ向けて取り組む。

【災害復旧】

問 災害後、川平町の神段橋は落ちたままとなっているが、復旧の予定は。

答 復旧工事に支障のある電柱の移転が必要となっており、完了は平成27年度末の予定。

問 復旧が平成28年の春頃となるなら、地元の要望である人や自転車が渡れる仮橋の架橋を。

答 協議中だが、安全を確保した上で仮歩道・仮橋など、可能な対策をしていく。

するべきではないか。

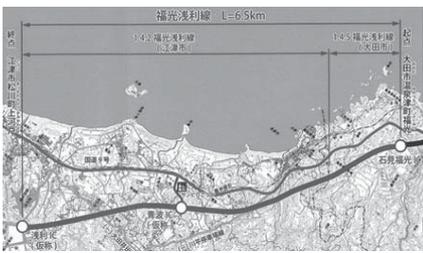
答 地域の振興につながるよう、まずは全線開通へ向けて取り組む。

【災害復旧】

問 災害後、川平町の神段橋は落ちたままとなっているが、復旧の予定は。

答 復旧工事に支障のある電柱の移転が必要となっており、完了は平成27年度末の予定。

問 復旧が平成28年の春頃となるなら、地元



山陰道「福光浅利連絡（仮称）」の計画図

問 本市では、高校への多額の助成をしているが、本来市町村は義務教育へ軸足を置くべきである。義務教育予算増額を。

答 これまでも「確かな学力」「豊かな心」「健康やかな身体」を基本方針として、学校や地域での具体的な取り組みをしてきた。今後も、校長会とも一層連携を強化し、子どもたちのより良い教育環境の整備に向け、必要な事業の創設等に努めていく。

問 本市では、高校への多額の助成をしているが、本来市町村は義務教育へ軸足を置くべきである。義務教育予算増額を。

答 これまでも「確かな学力」「豊かな心」「健康やかな身体」を基本方針として、学校や地域での具体的な取り組みをしてきた。今後も、校長会とも一層連携を強化し、子どもたちのより良い教育環境の整備に向け、必要な事業の創設等に努めていく。



田中 利徳

教育施策

教育諸問題の対応を

教育長／しっかり取り組む

問 若者の定着・定住を図るには、市内の若者の連携強化が必要である。民間等に任せただけでなく、行政側の支援が必要では。

答 今、市外県外から続々と若者が訪ねてくるといふ状況がある。本市としても、民間主導、若者主導の取り組みをできる限りサポートしていきたいと考えている。また今後、人口減少にかかる「江津市総合戦略」の策定では、多面的な支援を検討する。



▲市内全小学校4年生を対象に少年自然の家で行われた通学合宿



▶老朽化が進むかつての若者の集いの場所、勤労青少年ホーム

保健福祉

保健福祉総合計画
の状況は

市長／しっかり取り組んでいる



藤間 義明

問 高齢者ふれあいサロンの状況は。
答 開催回数、参加人数とも減少傾向となっており、過疎高齢化によりサロンの担い手となるボランティアも減少。開催が難しくなりつつある地域や、新

たな参加者が増えないことなどが今後の大きな課題である。

問 生活習慣病予防として減塩運動などの取り組み状況は。

答 生活習慣の改善は各地区での健康教室、出前講座、広報への掲載などで啓発しているほか、食生活改善推進協議会でも減塩運動を活動の柱として地域での教室や健康まつりなどでも啓発に取り組んでいる。

問 二次予防事業対象者の把握、施設への通所、自宅への訪問などの状況は。

答 65歳以上で介護認定を受けていない方に対して、基本チェックリストを送付し、市役所へ返送し把握している。そのうち、約300人は週1回機能低下を改善するための教室に参加をしている。低栄養と診断された人は約50人いるが、管理栄養士が訪問、相

談で対応、支援を行っている。



平成26年9月 後地町にオープンした小規模多機能型居宅介護施設合歓の丘

問 地域活動として地域コミュニティは今までとどう違うのか市の方針は。

答 少子・高齢化、人口減少社会の中で、新たな地域課題に対応するには自らが暮らす地域のことを自らが決めて実行する自治力を再構築することが求められ、そのためには、今までの公民館施設ではできなかった独自の地域活動などを総合的に可能とする施設、組織が必要なことから、地域コミュニティの結成を促進している。

人口減少

結婚・婚活の推進を

市長／推進していきたい



坪内 涼二

ホームの今後のあり方は。

答 平成25年度末のホーム登録者数は47名と登録率は低調。建物は昭和49年度に建設され、老朽化が激しく、施設の廃止などを含めて総合的に見直すべき時期がきている。

問 島根県「はっぴーこーでいねーたー事業」との連携は。

答 優位な財源を確保するなかで今後も推進していきたい。各施策が結婚、出産、育児まで、切れ目のない支援ができるよう民間を含めた関係機関が連携しながら取り組んでいきたい。
問 若年層の異業種交流で中心的役割をはたしてきた勤労青少年

答 国や県の動向、他の人口減少対策事業や少子化対策事業の各施策とのバランス、財政状況など総合的な視点で検討していく。

問 特定不妊治療に対して助成を。

答 様々な観点から今後検討をしていく。

問 Uターンを条件にして、返済を減免する奨学金制度の創設を。
答 創設も含め、本市のUターンを促す仕組みづくりについて多様な角度から検討する。



鶴の湯（江津町）での異業種交流会「銭湯 う・まいんど」

【問】子どもの貧困は6人に1人の割合となっているが、貧困対策法は義務教育段階での経済的支援を明記している。学校給食費は月約5000円で子どもが2人いれば月1万円に



森川佳英

学校給食費

保護者負担の軽減を

市長／無料化の考え 全くない

【問】教育予算を年間予算の10%となる約16億円に引き上げ、1%の1億6000万円を給食費を無料にすべき。

【答】本市独自の施策もたくさんあり、学校給食費無料化の考えは全く持っていない。

【問】義務教育を原則無償とする憲法に照らしたの考え方は。

【答】議員は非常勤の地方公務員であり、消防団を地域防災の中核団体と位置付けている。市条例で報酬は年間1万8600円、出勤手当は3600円と規定している。交付税は、人口で定められた標準の団員数から算定されるが、本市は山や河川が多い状況から、本来は人口10万人で563人のところを、4分の1の人口で675人の団員数となっている。報酬総額は、交付税の1750万円を大きく上回る2400万円となっており、現状では引き上げは困難。

【問】消防団員の待遇改善】消防団員不足に對し、全国的には各種手当で待遇を改善している。国は団員1人あたり年間3万6500円の報酬と出勤1回に手当7000円を交付税で支出しているが、本市の現状は。

【答】すでに、保育料の軽減・第3子以後の3歳未満児の保育料無料化・就学前までの医療費無料化など実施。さまざまな施策を限られた予算の中で多角的に考える。

もなり、保護者負担の総額は1億895万円。すでに学校給食は義務教育の一環として機能している。学校給食無料化は有効な少子化対策では。

【問】消防団員の待遇改善】消防団員不足に對し、全国的には各種手当で待遇を改善している。国は団員1人あたり年間3万6500円の報酬と出勤1回に手当7000円を交付税で支出しているが、本市の現状は。

議員辞職にともなう委員会構成変更について

11月26日に1名の議員から議長あてに辞職願が提出され、同日受理されました。公職選挙法に基づき、繰り上げ当選はありません。また補欠選挙も要件を満たさず実施されません。そのため、定数16名ですが、欠員1名のままで議会を運営することとなりました。

欠員にともない下記の通り、正副委員長を選出、委員の指名を行いました。

| 委員会名 | 役職名 | 氏名 |
|-------------|------|-------|
| 予算委員会 | 委員長 | 土井 正人 |
| 総務文教委員会 | 副委員長 | 田中 利徳 |
| 議会運営委員会 | 委員 | 森脇 悦朗 |
| 地域医療対策特別委員会 | 委員 | 島田 修二 |
| 議会改革特別委員会 | 委員 | 坪内 涼二 |
| 消防組合議会 | 議員 | 藤間 義明 |

※新しい委員会構成は江津市ホームページに掲載しています。

行政視察報告

★総務文教委員会

10月20日から22日の日程で、秋田県大仙市と東成瀬村を視察しました。

◎視察内容「学力向上の取り組みについて」

秋田県の学力テストは常に全国トップレベルです。学習状況の分析と学力向上のための「学校改善支援プラン」の取り組みをしっかりと県下の小中学校に浸透させていきます。

◎【大仙市】

大仙市立小中学校は学力テストの結果が県内でも常に平均点以上の成績で、学校や教師は学力などの成長を保証し、保護者は家庭教育の責任を果たし、地域は子どもの自立を支える事を



東成瀬村小学校の授業を視察

実践しています。また組織として市教育研究所の役割が、教育委員会と学校現場の間に立ち、しっかりとフォローしているのがわかりました。

◎【東成瀬村】

東成瀬村は人口2700人の小さな村ですが小中学校の学力テストは秋田県の中で常にトップの成績です。テレビや新聞雑誌等にもよく取り上げられ昨年の視察に来られた方は900名です。8時30

分から16時30分まで1日かけて視察しましたがクラスでは生徒が授業に非常に集中し途中何回でも3〜4名のグループ討議や発表をしていました。

★建設厚生委員会

11月4日から6日の日程で、山形県酒田市、庄内町及び新潟県長岡市を視察しました。

◎【酒田市】

・中心市街地活性化の取り組みについて
「中心市街地街づくり推進センター」と新たなビジネスチャンス創出のための「異業種交流プラザ」について説明を受けました。

◎【庄内町】

・子育て応援日本一の取り組みについて
『子育て応援日本一の町づくり宣言』を行い、第3子からの誕生祝い、中学校までの医療費の無料化など74もの支援策を実施し、子育て以外の定住促進事

業も含めて、5年間で、63世帯230人が町外から移住されたそうです。

◎【庄内町】

・新エネルギー事業の取り組みについて
11基ある風車の内、

町が建設・運営している1基を、見学しました。稼働から12年で年平均283万kwを発電し、平成25年から売電価格が上がったことにより、特別会計も黒字化となっています。

ただ、固定価格買取制度終了後の売電単価が示されていないため、今後の見通しが立たないそうです。

◎【長岡市】

・地域包括ケアシステムにむけた取り組みについて
全国的にも先進的に

実施している、社会福祉法人長岡福祉協会の運営する高齢者総合ケアセンターこぶし園の総合施設長小山氏から直接説明を受けまし

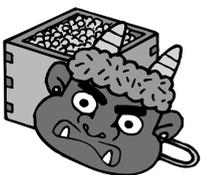
た。こぶし園では、行政・医療機関・介護サービス事業者・民間事業者と連携し、一体的なサービス提供のための基盤整備を行い、市内に14カ所のサポートセンターを設置しています。

それぞれの地域で晩年を過ごし、地域から離れず、24時間365日開所することで「切れ目のない介護」を大切に行っています。今回、見学した「サポートセンター撰田屋」は、近所の住民が休憩したり、学校帰りの子どもたちが寄ってゲームをしたりすることができ、「地域交流スペース」があり、高齢者が暮らす地域との交流を促す工夫がされるとともに、認知症対応型共同生活介護、小規模多機能型居宅介護、配食サービ



高齢者総合ケアセンターの地域交流スペースを見学

ス、在宅支援型住宅を備え、近隣住宅と同一不動産業者による森と水をイメージした景観に統一された施設でした。これからの超高齢化社会における地域包括ケアシステムの構築の現場を実際に視察することができ、大変参考になりました。



第4回議会報告会を開催

4回目となる江津市議会報告会を、10月18日から11月1日にかけて、4会場で開催しました。今回から3部構成とし、2・3部はこれまでの報告会での意見を参考に、各議員が自身の意見を発言しました。「わかりやすかった」「議員各人の考えが聞けてよかった」との評価の一方で、「行政や議会の用語が多くわかりにくい」との感想もいただいています。主な内容を紹介します。



波積町で行われた議会報告会

第1部【9月定例会の報告】

報告内容は「市議会だより121号」に詳しく掲載されていますので省略します。各常任委員会や決算特別委員会の審査状況を、担当者から報告しました。

第2部【パネルディスカッション】

「人口減少問題」をテーマに、各議員がパネラーとして意見を述べました。

| | |
|------------|---|
| 江津本町菟街道交流館 | <ul style="list-style-type: none"> ●これまでの「地方から大都市へ」ではなく、地方に人が移動するような政策が必要。若者が自己実現の可能性・夢を持てるようにしたい。 ●江津にしかない地域資源・魅力を発掘し発信する。 ●若者が出会える仕組みづくり。子どもを産み育てることができる支援が大切。 ●市長だけでなく、議員も江津のセールスマンとして、江津をアピールすることが大切である。 |
| 波積ふれあいホール | <ul style="list-style-type: none"> ●江津だけが減っているわけではない。国全体で政策を展開すべき。 ●30代男性の未婚率が45%。未婚・晩婚を解消する対策を検討すべき。 ●石見神楽を利用した若者定住を検討すべき。 ●海士町は元気で、人が人を呼び込んでいる。逆に江津はよそ者が少ない。Uターンの施策・石見神楽・温泉・ツアーなど観光で人を呼び込むことが大切。 |
| 波子公民館 | <ul style="list-style-type: none"> ●子育て支援を充実させている邑南町のような取り組みが必要。保育料軽減や医療費無料化など取り組むべき。 ●市長の「人口減少は仕方がない」との発言を許す議会ではいけない。 ●出生率を上げる前に婚活などの取り組みが重要。高校生へ将来江津市で子どもを産み育てる教育をすべき。 ●不妊治療への支援を充実させるべき。あわせて、小児科医の確保も重要。 ●地方創生会議の人口推計そのものに異議がある。海士町のように人口が増えているところもある。 ●少子化と高齢化は異なる問題。少子化は社会経済的減少。高齢化は医療・福祉の充実によって起こってきた。 ●構造改革・規制緩和による影響が大きい。格差と貧困が生まれた。 |
| 市生涯学習センター | <ul style="list-style-type: none"> ●短期的には雇用の確保が必要。長期的には教育の充実が重要。 ●教育のまちづくりや、ふるさとに帰ってくるような取り組みが大切。 ●30代の人や、子どもを産み育てやすい環境づくりが必要。 ●婚活を地域で行えばよい。 ●今、住んでいるところで住み続けられるよう、交通手段や地域コミュニティを充実すべき。 |

第3部【意見交換会】 参加者との意見交換の中から、主なものを記載します。

| | |
|------------|--|
| 江津本町薨街道交流館 | <p>問 ごみ袋の値上げ理由は何か。</p> <p>答 ごみの減量化と設備の維持管理費が理由との説明があった。</p> <p>問 下水道の普及率は。</p> <p>答 江津地区 31%、桜江地区 92%となっている。</p> <p>問 江津本町に公衆トイレを設置してほしい。</p> <p>答 公衆トイレの設置は、国・県の管轄もあり難しいが、観光振興として要望していきたい。</p> <p>問 図書館建設計画の状況は。</p> <p>答 江津駅前再開発があり遅れている。図書館建設のために市民から寄せられた基金は7,300万円となっている。</p> |
| 波積ふれあいホール | <p>問 農業の厳しい状況を打破する方策は。</p> <p>答 価格補償などで生産者を保護する施策を国に求めるべき。</p> <p>問 消費税 10%についての議論は。</p> <p>答 「増税しても社会保障は良くならない」「すでに法律で決まっている」など賛否両論だった。</p> |
| 波子公民館 | <p>問 世論の7割が消費税の10%への増税に反対しており、増税反対の意見書提出が議員提案されたが否決されている。反対の議員の意見を聞きたい。</p> <p>答 増税は心苦しいが、これからの生活がよくなればと考えた。増税反対の世論が7割だが、社会保障を維持し、暮らしやすさを担保するため致し方ないと反対した。</p> <p>問 市内各所で地域コミュニティが進んでいる。波子でも充実したものにしたい。コミュニティの狙いはなにか。充実へのアドバイスが欲しい。</p> <p>答 コミュニティは住民が集まってつくり、地域全体で理解を深めながら、合意形成した上で進めるべき。</p> |
| 市生涯学習センター | <p>問 水道代、農業集落排水使用料が高い。無料の肥料を有料にしてはどうか。</p> <p>答 水道については、これまで県に要望し、値下げをしてきている。桜江地区で料金が上がったのは合併時の条件の一つだった。肥料については持ち帰って個人的に研究したい。</p> <p>問 敬老会やにこにこ給食など福祉活動にもっと補助金を出して欲しい。</p> <p>答 市から社会福祉協議会へ、3100万円の補助金を出している。</p> <p>問 県内でも海士町では人口が増えている。要因は何か。</p> <p>答 危機感を持って、町長が先頭に立って町の魅力を高めた結果である。おもてなしの心で、よそ者・若者・ばか者が活躍している。</p> |

議会報告会での市民の皆さんからの要望をもとに市長に報告書を提出しました

平成二十六年十一月二十七日

江津市長 山下 修 様

江津市議会議長 藤田 厚

○江津本町では近年、観光客が増えていますが、観光客からトイレの問い合わせがありますが、対応に苦慮しています。この地区に公衆トイレの設置をしていただきたいと思います。 (本町)

○地域コミュニティ組織の結成が難しい。市の方から、何回でも説明に来て欲しい。 (本町)

○農業、特に水稻について厳しい現況を打破する施策をどう考えているか。補助金行政では、補助金がなくなると、農業を継続することが困難になる。補助金に頼るのではなく、コメのブランド化など「おいしい米を作ることが大切」 (波積)

○江津に住みたくなるように、水害対策の一層の強化をお願いします。 (市山)

○地域コミュニティづくりも「金太郎アメ」のような地域づくりになる。長期的視点をもって議論を展開して欲しい。人気取り、票取りの議論の結果は住民が負うことになる。もっと提案型の視点をもっとほしい。 (波子)

チャリティー余芸大会に参加

1月11日(日)、江津市総合市民センターで行われた第3回江津市共同募金チャリティー余芸大会に、江津市議会議員クラブ有志13名が参加。「スキー」「花は咲く」の2曲を披露しました。今回も歌唱指導を花崎先生、ピアノ伴奏は徳田先生にお願いし、12月



議会終了後の年末に1回、年が明けて2回の厳しい指導にも耐えて大きなステージを踏むことができました。合唱の出来不出来については、当日会場に来られた方のみお分かりです。



先生方の温かいご指導のおかげです。ありがとうございました。

お知らせ

○次回定例会日程

3月4日(水) から

3月20日(金)までの

予定です。

○請願・陳情の

受付について

請願書及び陳情書の受付は、定例会9日前の正午までです。

【例】

3月定例会では、2月23日の午前中ま



トピックス

観光客をおもてなし

「石見神楽と有福温泉ツアー」が10月15日から11月26日までの間、6回にわたり催行され、ボランティアガイドの会・観光協会・商工会議所・市・議員有志が江津本町の山辺神社前で観光客の皆さんを歓迎。

このツアーは、旅行会社などが企画し、京阪神などから136名の参加者が1泊2日の日程で、江津本町の散策、有福温泉での宿泊、石見神楽の鑑賞などを通じて江津市の魅力を堪能。

市全体で観光客を歓迎するおもてなしの気持ちが大切です。

『となります。それを過ぎますと、次定例会(6月定例会)に付託・審議されることとなります。

編集後記

昨年6月に市議選が行われて約半年が経過しました。12月には衆議院解散総選挙が実施され、今春には統一地方選が実施されます。島根県は投票率が高

い県として有名で、今回の衆議院選でも全国1位の投票率でした。しかし投票率は前回に比べ大幅に低下しています。若い世代だけでなく各世代において政

- 委員長 島田 修二
- 副委員長 多田 伸治
- 委員 坪内 涼二
- 委員 鍛治恵巳子
- 委員 小林 博昭
- 委員 田中 直文

議会広報・情報公開
対策特別委員会

議長 藤田 厚

編集・発行責任者

治離れが加速していることを表しているように感じます。議会だよりを通じて、広く市民の皆様が議会が身近で分かりやすく、政治について関心を持っていただけるよう、今年も読みやすい議会だよりの編集に努めてまいりたいと思います。(坪内涼二)

【お詫び】

12月定例会の一般質問では、議場のカメラシステムの動作不良で、CATVの画像が固定画像となり、大変お見苦しい映像となってしまうことを、お詫び申し上げます。